

特別支援学級・学校におススメ！



多様な専門分野の講師が学校の要望に応えます！

特別支援学級・学校に出向いて児童・生徒の状況に合わせてオリジナルの講座を作成します。
専門性の高い講師がモノづくりにまつわる講座を行うことで、児童・生徒のモノづくりへの興味・関心をより引き出すことが可能です。下記は専門の講師による講座の一部抜粋になります。

※それぞれの学校状況に合わせて講座内容を一部変更することがあります。

No.	講座内容	対象年齢層(想定)			講師	講座概要
		小学校	中学校	特別支援		
43	自分の想像を創造しよう(体験)	○	○	○	森脇 友理 氏 (NPO法人ARTIST JAPAN理事長/書家 芸術家/芸術療法士)	NPO法人アーティストジャパンは、障がい児等に対し、日本文化や芸術に触れる事業を行い、本人・保護者の生き甲斐を見つけ、障がい児等が作成した作品の展示会を行い、障がい児等に係る生き甲斐、社会とのつながりの創出をすると共に、発達障がい児等に対し教育・療育を行うことで、障がい児等の福祉向上に寄与することを目的としています。 実施例) 風船スタンプで宇宙を描こう、ダンボールで作ってみようなど
26	製造業における ～働くやりがい～(講話)	○	○	○	萩本 益巳 氏 (アイシンウェルスマイル株式会社/グ ループサポート部)	元特別支援学校の教員であり、現在は障がい者雇用の推進を行っている萩本氏による、製造業で働くやりがいと、働く上でのこころがまえについて企業現場サイドからお話頂きます。
32	夢のロボット実現に向けて (実演・講話)	○ (4年生以上)	○	○	西山 禎泰 氏 (愛知工業大学/AITプロジェクトディレク ター)	大学で学生とともに、鉄人28号プロジェクトなど、夢のロボット実現に向け、開発・設計・制作を行っている様子や、ロボット製作の魅力、可能性・苦勞についてお話を頂きます。
18	私たちのくらしを支えるモノづくりの現場を覗いてみよう！～バーチャル工場見学～(講話・実演)	○ (4年生以上)	○	○	水野 一路 氏 (ユーアイ精機株式会社 代表取締役)	プレス金型工場の現場における、機械加工工程等を通信技術とVR技術により、学校の教室に居ながら工場を見学します。児童生徒は、パソコンやスクリーンの画面を通して、モノづくり現場のしぐみを学びます。
25	働く上での技能の大切さ CAD体験(実演・講話)			○	前島 和雄 氏 (愛知障害者職業能力開発校 主任専門 員)	職業能力として生徒に機械CADの指導をされる中で、障害のある生徒をアビリンピックのみならず若年者ものづくり競技大会に挑戦させて入賞したり、アビリンピック金賞から国際大会への挑戦もさせている経験から、モノづくりの可能性について話してもらいます。
22	私だけのジュエリーをつくろう！ ～想いをカタチにする仕事～ (体験・実演・講話)	○	○	○	榑原 敏洋 氏 (アトリエ・ドゥー 代表 貴金属装身具製作一級技能士 厚生労働省ものづくりマイスター認定)	装身具は縄文時代から作られており、「技術」と「心」の融合です。 材料や形状を考えた上で、溶かす、固める、曲げる、加工する、削る、磨くなど、現代のモノづくりに必要な技術の集合傑作がジュエリー。 世界に一つだけのジュエリー作りを体験する中で、ジュエリーの歴史やモノづくりの原点などを学ぶことができます。
40	常滑焼で世界に一つだけのお茶碗を作ろう！	○ (4年生以上)		○	鯉江 優次 氏(TOKONAME STORE 有限会社山源陶苑代表取締役)	経済産業大臣指定伝統的工芸品であり、日本六古窯の一つである常滑焼でお茶碗を作ります。モノづくりの楽しさから伝統工芸品を身近に感じ、郷土愛を育てます。【講師紹介】常滑市内の小学校にてお茶碗プロジェクトを実施しています。児童は常滑焼の土でお茶碗を成形します。焼成後日、学校までお届けしています。その日は給食のごはんを自分が作ったお茶碗で食べることで『使う喜び』を感じています。食卓にいつもならぶお茶碗だからこそ、生活の中で郷土愛が育める活動をしています。

アビリンピックとは？

アビリンピックは、障害のある方々が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。

【運営事務局】特定非営利活動法人アスクネット

TEL:052-881-4349 FAX:052-881-5567